第2章 八王子市がめざす公共施設像

第1章では、公共施設景観形成マニュアルの仕組みについてまとめました。

これを前提として、八王子市における公共施設のめざすべきすがたを以下の公共施設ごとに示し ます。

どの公共施設においても、企画段階から本章に掲げるめざすべきすがたを意識するとともに、 第3章で掲げている各施設の基本ルールを十分理解し、豊かな自然と眺望を活かした景観、親水 性と眺望を楽しめる水辺景観、地域性を活かした緑豊かな沿道景観など魅力ある都市景観の形成 に向けて取り組むよう心掛けてください。

> 施 設 1 道路 2 橋梁 3 河川·水路 4 公園・緑地 5 公共建築物 6 公共サイン

1. 道 路

めざす公共施設像

特徴・性質

- ◆人々の活動を支え、まちの骨格となる重要な公共施設
- ◆それ自体が視対象となるだけでなく、視点場となる
- 1 地域特性や周辺と調和した魅力ある道路
 - ① 駅前や中心市街地では、街の賑わいのある道 路空間を創出する。



■インターロッキングブロックを一体的に 使用し、通りの賑わいを演出している (西放射線ユーロード)

② 丘陵地の自然や歴史的・文化的特性がある場 所では、その地域に馴染む道路空間を創出す る。また、シンボルツリー等良好な景観要素 がある場合は、その要素の保全に努める。



■自然景観と調和する道路空間を創出している (高尾山参道)



■アンダーパス建設に伴い、シンボルツリー の桜を移植して保全に努めている (小門町)

2 連続性や統一感のある道路

① 道路の附属施設は、同一の形状にすることで連続性を持たせ、通り毎等で素材・色彩を調和させることで統一感のある道路空間になるよう配慮する。



■防護柵と照明柱を落ち着いた色彩と することで周辺景観と調和させている (甲州街道 八幡町)

3 すっきりとした快適な道路空間の演出

① ユニバーサルデザインに配慮した道路整備を行い、快適性や利便性の向上を図る。



■歩車道境界ブロックの形状をスロープ 状にし、車いすの走行性や歩行者等に 配慮している(清滝駅前)

② 地中化を行う計画路線を決定する場合、 できる限り幹線道路や観光地内の主要道路 では、電線類の地中化を検討する。



■電線地中化を行い、 すっきりとした道路 空間を創出している(甲州街道 八木町)

2. 橋 梁

めざす公共施設像

特徴・性質

- ◆道路と連続し、河川を横断するアイストップとして重要な役割をもつ
- ◆それ自体が視対象となるだけでなく、遠くを眺望できる視点場となる

市民に親しまれる橋梁

① 自然景観や市街地景観、歴史的景観等の地域 特性に考慮し、橋梁本体の素材・形態意匠や 色彩を周囲の景観に馴染むよう配慮する。



■地域特性を考慮して、木の橋梁にすることで 自然景観に馴染んでいる

(東釜の沢橋 上川町)

② 水辺からの眺めや歩行者の見上げる視線を考 慮し、周辺景観との調和に配慮する。



■多摩御陵参道の橋であるため、威厳のある形 式と周辺の自然との調和を考慮したデザイン が施されている(南浅川橋 東浅川町)

③ 橋の周辺には可能な限り、まちなかに潤いと 憩いの場を創出するよう配慮する。



■橋付近に小広場を設けることによって憩い の場を創出している(長池見附橋 別所)

|2| 連続性や統一感のある橋梁

① 附属施設の高欄は、同一の形状にすることで連続性を持たせる。照明柱などは高欄と調和した素材・色彩にすることで、統一感のある橋梁空間になるよう配慮する。また、前後道路との連続性にも配慮する。



■照明柱と防護柵の色彩を調和させていることで統一感のある橋梁空間になるよう配慮している

(古道橋 東浅川町)

3 水辺や山並みの眺めを楽しめる橋梁

① 高欄は、安全性を考慮した上で、河川への見通しを阻害しない、視線を遮らないようなデザインとするよう配慮する。



■縦の細い桟で河川への見通しを阻害しない デザインとしている

(瀧乃澤蛍橋 上恩方町)

② 河川、山並み等の自然景観を眺望できる橋梁では、できる限り視点場を確保するよう配慮する。



■川口川を眺めることが出来る視点場を確保 している(清水公園橋 犬目町)

3. 河川・水路

めざす公共施設像

特徴・性質

- ◆治水・利水の面から生活、文化、産業に大きな影響を及ぼす
- ◆河川環境は、昆虫や小動物等の多様な生物の生息の場として貴重な空間
- ◆自然の地形を基盤として形成され、それ自体が自然的な景観要素になっている

|1| 人々の暮らしや文化などの周辺環境と調和し、母なる川を主役にする

① 河川がまちの主役となるような開放的で潤 いのある景観をつくる。



■自然豊かで潤いのある河川(北浅川)

② 地域固有の歴史・文化的背景、景観資源、 眺望、祭事などを活かし、市民に愛される 周辺環境を大切にする。ただし、具象的な デザインや華美な装飾は行わない。



■美しい桜並木を活かした市民に親しまれる河川 (南浅川)

- |2| 生きものの生息の場となり得る川づくりを通して、生態系に配慮した自然環境を 保全し、有機的な景観をつくる
 - ① 石積や多孔質なものなど、水路の表面を自 然で有機的にし、多様な生き物の生息環境 を保全・創出する。



■民地の玉石護岸の擁壁と調和させ、有機的 な水路としている (叶谷町の水路)

② 緑化された多自然型護岸として、自然環境の育成を図る。



■自然環境に配慮し、多自然型護岸としている(北浅川)

③ 柵や水路横断橋などの付帯施設は、時間の 経過と共に周囲の景観に美しく馴染む自然 石や木材、金属などの自然素材の選定に努 める。機能上人工的な材料とする場合は、 色彩に配慮する。



■柵等をダークブラウンで統一している (上柚木の水路)

3 河川の自然地形や多様性を活かして、親水性の高い空間をつくる

- ① 水辺に親しみやすい親水護岸とする。特に、 遊歩道(低水護岸)、斜路・階段、河川敷広 場等により潤いのある景観を創る。
- ※ 治水や利水また安全上の支障がないことを前提とする。



■階段状親水護岸や河川敷広場を設け水辺に 親しみやすいよう配慮している(浅川)

② 河川管理用の通路は、水辺に親しめる遊歩 道空間として活用する。



■水辺に親しめるよう配慮した河川(谷地川)

③ 水・みどり・空・山並み・橋などの眺望を 活かし、人々の憩いの場をつくる。



■豊かな自然と陣馬山への山並みが眺望 できる橋梁(北浅川)

河川整備にあたっての参考資料

◇河川分野では、河川整備計画をはじめとして景観に配慮した計画が策定されているため、 これらと連携を図っていきます。特に、一級河川は国や都の管理となることから、上位計 画との連携が欠かせません。

八王子市内の河川・水路	
一級河川	国と都が管理する一級河川(二級河川はなし)
	国:多摩川…右岸に滝山丘陵の斜面が迫り、川の流れと緑が調和 浅川(南浅川合流地点から下流)…市域中央を東西に流れ、山地・丘陵地
	と市街地とを結ぶ骨格。
	都:秋川、案内川、大栗川、大沢川、大田川、小津川、川口川、御霊谷川、城山川、醍醐川、兵衛川、南浅川、谷地川、山入川、山田川、湯殿川 浅川(南浅川合流地点から上流)
普通河川	八王子市が管理する水路
	河川法等の特別法に基づいて管理されている河川(法定河川)以外のもの。

『「河川景観の形成と保全の考え方」参考資料』平成18年10月 国土交通省 河川局

「多自然川づくり」

河川全体の自然の営みを視野に入れ、地域の暮らしや歴史・文化との調和にも配慮し、河川が 本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出するために河川 管理を行うことをいう。

平成18年策定 国土交通省「多自然川づくり基本指針」より

「八王子市の川づくりの考え方」

「多自然川づくり基本指針」に基づき、人々の暮らしや文化と調和し、生きものの良好な棲み かとなる川づくりをめざしていく。 平成22年3月策定 「八王子市水循環計画」より

湧水ネックレス構想

八王子市湧水ネックレス構想にある8か所の水辺では、良好な親水空間が 形成されており、八王子に欠かせない魅力のひとつです。

4. 公園・緑地

めざす公共施設像

特徴・性質

- ◆まちに潤いをあたえる市民の憩いの場
- ◆地域性や用途、規模により性質が異なり、多様性がある

1 季節感を演出する緑豊かな環境をつくる

① 植栽は、丘陵地の植生や周辺のまち並みとの調和に配慮するとともに、花や紅葉など、 一年を通じて変化が楽しめる樹種を選択 し、四季を感じられる環境を演出する。



■季節感を感じさせる樹種を選択している (長沼公園)

② みどりや水辺の連続的なネットワークを形成するよう、特に接道部における緑化や周辺環境とのつながりに配慮する。



■湧水池の周辺にも緑化を行っている (横川弁天池公園)

③ 樹木の生長にあわせ、成木になったときの樹高や樹形による公園・緑地内外からの景観を想定して、樹種選定および配置に配慮する。



■成木になったときの樹高・樹形に配慮している(長池公園)

|2| 地域特性や周辺環境と調和する親しみやすい雰囲気をつくる

① 地域固有の歴史・文化的背景、景観資源、 眺望、祭事などを活かし、個性豊かな親し みやすい空間をつくる。ただし、具象的な デザインや華美な装飾は行わない。



■里山の風景を再現した公園(栃谷戸公園)

② 市街地では、周辺の施設等と調和するとも に、潤いを与え開放感を演出し、市民の憩 いの場をつくる。



■周辺施設と調和するような色彩を用いて 市街地に憩いの空間を創出している公園 (船森公園)

③ 自然豊かな地域では、緑の資源を守り、自 然景観に馴染むよう配慮する。



■池や周囲の緑を保全し、自然景観に馴染む 色彩を用いた柵類を設けている (長池公園)

|3| 多様性を重視し、地域特性や用途、規模などにふさわしい設えにする

① 散策、レクリエーション、災害時の避難、 スポーツ等といった多様な目的に使用され ることから、それぞれの用途や規模に相応 しい設えとする。



■周辺に植栽し、多様な目的で使用されている スケートパーク(戸吹スポーツ公園)

|4| 施設等の素材、形態、意匠は、周辺環境と調和させ快適な空間をつくる

- ① 自然そのものを楽しめるよう、施設には時間の経過と共に周囲の景観に美しく馴染む自然石や木材、金属などの自然素材の選定に努める。機能上人工的な材料とする場合は、色彩に配慮する。
- ※ ユニバーサルデザイン(バリアフリー経路等) 上、また安全上の支障のない範囲とする。



■公園内の自然に配慮した自然木道 (小宮公園)

② 立地する公園・緑地の周辺の景観特性に応じた素材や色彩を選ぶ。ただし、具象的なデザインや華美な装飾は行わない。



■自然の色彩に倣い塗装した遊具を設置 している(東平岡公園)

③ 駐車場など広範囲で舗装する場合は、場内 に緑陰をつくったり、余地に芝などの地被 類を植栽したりするなど、緑化を工夫し修 景を図る。



■駐車スペース内を緑化し修景を図る (長池公園)

④ 建築物などの施設をつくる場合は、圧迫感 を与えないように工夫する。



■圧迫感を与えないよう色彩等を工夫 している公衆トイレ(陵南公園)

路

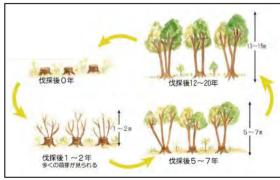
| 5 | 樹木等の成長等を通じて「公園を育てていく」よう意識して維持管理を行う

① 公園は、はじめから完成するものではなく、 アドプト制度や手づくり公園事業などを活 用し市民協働で整備や維持管理を行い、育 てていく。



■市民協働の「手づくり公園事業」により つくられた公園(小田野中央公園)

② 古い緑地では、萌芽更新などの手法を用い 植生に配慮した生長管理とする。



■萌芽更新のサイクル (出典:環境省HP) (http://www.env.go.jp/nature/satoyama /tebiki/02-02_03tebiki.pdf)

路

5. 公共建築物

めざす公共施設像

特徴・性質

- ◆地域の景観を構成する重要な要素であり、まちの骨格となる重要な要素
- ◆地域特性や自然環境を活かし、周辺の景観との調和に配慮しながら民間建築物の手本となり、景観を先導する役割を担う

1 地域の歴史的特徴の継承

①歴史的な景観資源の周囲では、その資源が引き立つよう、配置、規模、形態・意匠を工夫する。



■周辺の景観に合わせた形態・意匠として いる(高尾599ミュージアム)

2 自然環境との調和への配慮

①周辺の山並み・丘陵地の緑・市街地等への眺望を損なわないよう、配置、規模、形態・意匠を工夫する。



■丘陵地の眺望を阻害しないよう配慮された 規模としている(道の駅 八王子滝山)

②水辺に面する場所においては、開放感に配慮した配置、規模、形態・意匠となるよう工夫する。



■浅川の開放感に配慮した形態・意匠として いる(八王子市役所)

③ 通りに対する表情・演出

- ①建築物の分節化や、開口部や駐車場等の配置 の工夫等により、通りに対する表情づくりや 演出を心がける。
- ②道路沿いの緑化や、歩行者空間としても利用 できる空地の提供等の工夫を行う。
- ③道路沿いの壁面は、分節化や表面の緑化、仕 上げの工夫等により、歩行者に圧迫感を与え ないよう配慮する。



■前面道路に対して圧迫感を与えないよう通り 沿いに緑化を行い配慮している (コニカミノルタ サイエンスドーム)

4 まち並みに賑わいや親しみをもたらす配慮

①地域で多く用いられている素材・色彩の使用 や、建築物群で構成されるスカイラインや壁 面の位置、高さや規模・形態等を協調する等 により、親しみが感じられるまち並みを形成 する。



■建物のスカイラインを協調したまち並みが 形成されている (高尾山参道)

②シンボルツリーの配置や壁面後退部の植栽等 により、市民の憩いの場となる豊かな外構空 間となるように配慮する。



■植栽を配置して緑豊かな外観を演出している (いちょうホール)

共建築

物

③設備類や工作物等が建築物の形態・意匠を損ねないよう、修景を工夫する。



■屋上にある設備等に配慮し、パラペットを立 ち上げ、建築物の形態・意匠を損なわないよ うにしている(八王子市役所)

④建築物に設置される屋外広告物は、まち並み として一体感が得られるよう、建築物と調和 した質の高いデザインとなるよう工夫する。



■建築物の外壁色と調和した切文字の屋外広 告物としている (サザンスカイタワー八王子)

5 現在のまち並みの特徴を活かした色彩

- ①建築物の色彩は、穏やかな色彩景観を継承 し、暖色系色相の中・低彩度色を中心とした 色彩を用いる。
- ②地域で多く用いられている色彩を建築物の 外壁色として用いる。



■暖色系の外壁色を中心とした風情のある外観 としている(高尾599ミュージアム)

6 隣接する色彩との連続性に配慮した色彩

①建築物の色彩は、隣接する建築物等の色彩に対して、色相を揃えることや、明 度や彩度に共通性をもたせる等の工夫により、まち並みの連続性に配慮する。

橋

梁

河 Ш 水 路

公 袁 緑 地

共 建 築

物

公 共 サ 1 ン

よく似た色でそろえる配色

- ・統一感が得やすく、落ち着いた景観に まとめることができます。
- ・同じような色彩でそろえすぎると単調 で不自然な景観になる場合もあります。

色相(いろあい)をそろえる配色



・市内の建築物の多くは、暖色系(黄赤 系、黄系など)が基調となっており、 暖色系色相でまち並みをそろえると、 暖かみのある景観にまとめることがで きます。

トーン(色の強さ)をそろえる配色



- ・色のトーン(色調)をそろえ、色相に 変化をつける配色です。
- ・穏やかなトーンでそろえると、全体と して落ち着きのある統一感が感じられ ます。
- ■八王子市景観ガイドラインより抜粋(p.43)
- ※多様な色彩が混在して不調和な印象を与えないよう、類似した色相の濃淡でまとめることや、必 要以上に多くの色彩を用いないようにする等の工夫を行う。

市街地に近接する緑や地域の景観資源の存在感を際立たせる色彩

- ①山地や丘陵地に立地する建築物等や公園、緑地、丘 陵地等に隣接する建築物等では、周辺の緑が一層映 えるようにより穏やかな色彩を用いる。
- ②景観資源を際立たせるため、それらの色彩よりも穏 やかな色彩を用いることや、雰囲気を合わせる等の 工夫を行う。



■丘陵地の緑が映えるよう、規模や色彩に 配慮した建築物(道の駅 八王子滝山)

| 8 圧迫感や違和感を軽減する親しみやすい色彩

①大規模な建築物等の色彩は、周囲の景観に違和感なく溶け込む色彩を用いる。



②外壁面は、色彩による分節化を行う等により、圧迫感を軽減するような工夫を行う。



■中野市営住宅 色彩計画図

6. 公共サイン

めざす公共施設像

「(仮称) 公共サイン指針」

公共サインについては、本マニュアルにおいては基本的な方針のみを定義づけること とし、設置基準や表記基準、デザインの統一を図るため、「(仮称) 公共サイン指針」 にて、別途詳細を定めることとします。

■対象サイン : 案内サイン・誘導サイン・説明サイン・規制サイン・位置サイン

・整備基準、サインシステム(配置基準)、デザイン基準、構造基準、フォント、 ■計画内容

色彩、ピクトグラム、言語、維持管理

特徴・性質

- ◆移動上、また施設利用上に必要な情報を提供する媒体
- ◆施設の主要な出入口や分岐点など、視認性の高い場所に配置される
- ◆利用しやすさに大きな影響を与える

|1| 地域特性や周辺環境と調和した公共サインの整備

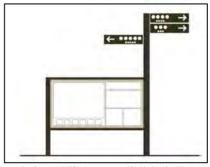
① 地域固有の歴史・文化的背景、景観資源な どを活かし、市民に愛される周辺環境を大 切にする。ただし、具象的なデザインや華 美な装飾、高彩度の色彩等は使用しない。



■集約化され景観に馴染むシンプルな 案内板を設置している(片倉城跡公園)

|2| サインの集約化の促進

① 他の要素と統合・共架することにより、可 能な限り集約化を図る。乱立により景観を 阻害する看板等は撤去する。



■案内・誘導サインの集約化を図る

3 利用者の視点に立ったわかりやすい公共サインの整備

① 同一路線、駅前広場、施設などの影響範囲 内においては、サインの形態・意匠、高さ や色彩等を統一する。



■高さ及び色彩を統一したデザインの誘導 サイン(JR八王子駅北口)

② 見やすさとわかりやすさに配慮し、多色使いやイラストの過剰な使用を避ける。



■見やすさに配慮し多色使いをしていない 案内サイン(JR八王子駅北口)

4 ユニバーサルデザインへの実践

- ① ユニバーサルデザインにも配慮した計画とする。
- ※ ピクトグラムは、JIS規格を原則とする。



■わかりやすいピクトグラムを使用した 案内サイン(JR八王子駅北口 旭町)